

	幼児期	小学部			中学部	高等部・専攻科		
		低学年	中学年	高学年				
キャリア発達の段階	人間関係基盤形成の時期	進路の探索・選択にかかわる基盤形成の時期			現実的探索と暫定的選択の時期	現実的探索・試行と社会的移行準備の時期		
視覚障害教育の視点からキャリア教育を貫く教育活動	意図的直接的な模倣や体験による活動			集団における自他の理解を促す活動		社会生活の場面を想定した活動		
領域	各段階におけるキャリア発達を促すために育成することが期待される具体的な能力・態度							
人間関係形成能力	自他の理解能力 互いに認め合うことを大切にしている行動していく能力	□友だちと遊ぶ	□友だちと仲よく遊び、助け合う □家庭、家族に愛されているという ことに気づく	□友だちのよいところを認め励まし あう □自分の生活を支えてくれる人 へ感謝する	□自分らしさを発揮し、人に認めて もらうことができる □話し合いに積極的に参加するこ とができる	□自他の個性を理解し尊重する □自分の悩みを話せる人を持つ	□自己の能力、適性を理解して、それを受け入れて伸 ばそうとする	
	コミュニケーション能力 集団の中で良好な人間関係を築 きながら自己の成長を果たして いく能力	感謝・あいさつ・返事をする			協力・信頼する		場面や目的に応じたコミュニケーションができる	
情報活用能力	情報収集・探索能力 必要な情報を選択・活用し、自己 の進路や生き方を考えていく能 力	□地域に親しみを持つ	□身近で働く人々に興味関心を持 つ	□いろいろな職業や生き方がある ことがわかる	□自分に必要な情報を探す	□生き方や進路に関する情報を、様々なメ ディアを通して調査・収集し、活用する	□卒業後の進路や職業・産業の動向について、多面 的・多角的に情報を集め検討する	
	職業理解能力 集団における体験を通して、社 会生活や職業生活との関連や今 しなければならぬことを理解す る能力	働くことを知る			働くことの意義を理解する		就業体験を通して自己の生き方を考える	
将来設計能力	役割把握・認識能力 生活の中での多様な役割や意義 及び関連を理解し、自己の果た すべき役割等に認識を深めてい く	□ごっこ遊びをして自分の役 割がわかる	□家事の手伝いや割り当てられ た仕事・役割の必要性がわかる	□互いの役割や役割分担の必 要性がわかる	□仕事における役割の関連性や 変化に気付く	□よりよい集団活動のため役割分担やそ の方法・進め方がわかる □さまざまな職業とその社会的役割や意義 を理解し、自己の生き方を考える	□学校、社会において自分の果たすべき役割を自覚 し、積極的に役割を果たす □自分の将来設計に基づいて、今取り組むべき学習 や活動を理解する	
	計画実行能力 目標とすべき自己の生き方や進 路を考え、それを実現するための 進路計画し、実際の行動等で 実行していく能力	決まりや役割を理解する			計画することを覚え、自分の役割を理解する		将来設計と社会貢献の調和を図る	
意思決定能力	選択能力 自らのふさわしい選択・決定を し、その結果を責任を持って受け 入れ、適応・対処できる能力	□自分のしたい遊びを自分で 選んで遊ぶことができる	□自分の好きなもの、大切なも のをもつ	□係活動などで自分のやりたい 係、やれそうな係を選ぶ	□自分で考え行動できる	□自己の個性や興味・関心等に基づいて、 よりよい選択をしようとする □選択の意味や判断・決定の過程、結果に は責任が伴うことを理解する	□進路希望を実現するための諸条件や課題を理解 し、実現可能性について検討する	
	課題解決能力 自ら課題を設定し、問題や葛藤 を克服しながらその解決に取り 組む能力	自分で考え自分で行動する			責任を持って行う		将来展望を持つ	課題解決に取り組む
感覚情報処理能力	視覚代行能力 自らのリテラシーを深め、情報機 器を含めた補助具活用能力	□物に触れることを嫌がらな い □触れたものが何であるか 興味を持つ	□点字に触れることに慣れ、正し い指使いをする □点字機器を扱える □ルーベや単眼鏡の使用になれ る □パソコンに興味関心を持つ □携帯電話に興味関心を持つ	□読むために必要な点字表記を 確実に理解し、読む速度を高め る □困難な事柄に向き合うことが できる □書き誤りが直せる □パソコンのキーボードの配列 (文字や数字)がわかる □携帯電話の操作キーが分かる	□予測読みができ、正確に早く読むことができる □点字表記法に基づいた書き方ができる □必要に応じて各種補助具を使いこなすことができる □パソコンのキーボード配列(文字や数字以外)がわかり、五十音が入力できる □スクリーンの構成や変化を理解することができる □携帯電話を利用し、連絡手段としてメールの送受信ができる	□各種の情報の収集や、検索などインターネットを 活用することができる □スクリーンリーダーや画面拡大などの視覚代行シ ステムが活用できる □生活場面で視覚補助具を使いこなすことができる		
	環境認知・移動能力 保有する感覚を利用し、環境と 自己との関係を理解して、的確な 判断や行動ができる	外界からの働きかけを意識し、興味を持つ			いろいろなものに的確なイメージと概念を持つ		行動範囲の拡充	新しい環境への移行ができる